

パーソナルデータアーキテクチャ構築に関わる成果を公表

ー パーソナルデータ取扱いの適正性や潜在する課題の顕在化により 適切なパーソナルデータ利活用モデルの構築を支援 ー

一般社団法人データ流通推進協議会（所在地：東京都港区、理事長 村井 純、以下 DTA）は、2019 年度、内閣府が実施し国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が管理法人を務める「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／ビッグデータ・AI を活用したサイバー空間基盤技術／パーソナルデータアーキテクチャ構築」において実施した「DFFT(Data Free Flow with Trust) 実現のためのアーキテクチャ設計と国際標準化推進の研究開発」の成果物を公開しました。

成果物は、パーソナルデータを扱う全ての事業者やステークホルダが、ビジネスモデルや内部統制などのシステム設計を行うためのガイドとなるパーソナルデータリファレンスアーキテクチャ書とパーソナルデータリファレンスアーキテクチャ概要書、ユースケースシナリオ記載のためのユースケースシナリオテンプレート、本研究開発と並行して実施された実証実験の実施者が記載したユースケースシナリオ集、ELSI（倫理、法律、社会課題）視点からパーソナルデータの取扱いをまとめた ELSI 検討報告書などから成ります。

本書記載の手順に従い、各事業者が自らの事業のアーキテクチャを設計・整理することで、パーソナルデータの取扱いの適正性や潜在する課題を顕在化させ、適切なパーソナルデータの利活用モデルが構築されることを期待しています。

■ 内閣府の公開サイト

<https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/20200318siparchitecture.html>

■ DTA の公開サイト

https://data-trading.org/sipb-1_personaldataarchitecture_dta/

■ データ流通推進協議会（DTA）について

2017 年に日本で設立されデータ流通と関連事業者間の協力を促進するため、業態業種を超えた 140 以上の会員により構成されている民間組織です。データ主導型社会をリードする DTA は、ユーザーが必要なデータを簡単に収集して使用できるように、技術的および体系的な環境を構築することを目指しています。そのビジョンを実現するために、DTA は技術基準検討委員会、運用基準検討委員会、認定審査委員会、利活用促進委員会、戦略企画委



員会及び国際標準化推進委員会を設置しています。また、国際標準化団体である IEEE において、DTSI(Data Trading System Initiative)を提案し、2020 年 6 月に IEEE P3800 (Standard for a data-trading system: overview, terminology and reference model)の規格開発プロジェクト¹が設置承認されました。

本件に関するお問い合わせ

一般社団法人データ流通推進協議会 事務局 dta-office@data-trading.org

¹ P3800 - Standard for a data-trading system: overview, terminology and reference model (<https://standards.ieee.org/project/3800.html>)